

中等教育学校 令和7年度（4学年用） 教科芸術 科目 音楽 I

教科：芸術 科目：音楽 I 単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ D 組

使用教科書：（高校生の音楽 I（教育芸術社））

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって

【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う

科目 音楽 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う

	題材の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			歌	器	創					
1 学 期	リズムと旋律の特徴をとらえて、曲想について考えよう	「翼をください」「Tonight」「ボレロ」	○		○	バランスのよい姿勢、呼吸の仕方、声の響かせ方を身につけ、曲想と歌詞のかかわり、旋律とリズムの特徴を理解し、自己のイメージをもって表現を創意工夫したり、音楽のよさ	○	○	○	3
	曲想を工夫して雰囲気合った歌い方をしよう	冬景色	○			ハンドサインを用いて音色を工夫したり、曲想と音楽のかかわりを理解し事故のイメージをもって表現を工夫することができる。	○	○	○	2
	リズムアンサンブルを楽しもう	打楽器 「クラッピング・ラブソディ1番」		○		手拍子や打楽器を用いて音色を工夫し、表現を創意工夫してリズム合奏することができる。	○	○	○	2
	ポピュラー音楽の魅力を探ろう	「イバナマの娘」			○	ポピュラー音楽の定義や音楽の特徴を理解し、当時の社会情勢と音楽のかかわりを理解して鑑賞することができる。	○	○	○	3
	ギターアンサンブルに挑戦しよう	「第三の男のテーマ」「夢の中へ」			○	アボヤンド奏法やアル・アイル奏法、ストローク奏法を理解し、表現を工夫してギターアンサンブルをすることができる。	○	○	○	6
	曲の雰囲気を生かし、発声や言葉の特性を理解して歌おう	A Whole New World		○		ミュージカルで用いる発声の特徴や、英語の発音の特徴を理解し、歌詞の内容にふさわしい表現を創意工夫して歌うことができる。	○	○	○	4
	登場人物と音楽の描写を感じ、オペラの魅力を味わおう	オペラ「椿姫」			○	「椿姫」のあらすじ、登場人物の心情、当時の社会情勢を理解して鑑賞することができる。	○	○	○	3
	オーケストラの多彩な響きや表現を味わって観賞しよう	モーツァルト「交響曲第40番」、ヨハンシュトラウス「アルプス交響曲」			○	オーケストラの定義や歴史、時代によっていったんか理解して音楽を分析することができる。	○	○	○	3
歌曲のよさやすばらしさを味わおう	「Caro mio ben」			○	イタリア語の発音の特徴や、リズムと旋律のかかわりを理解し、歌詞の内容にふさわしい表現を創意工夫して歌唱することができる。	○	○	○	3	
2 学 期	和楽器の魅力を味わおう	六段の調		○		統譜の読み方と箏の構造、奏法を学び、「六段の調」の唱歌を歌うことで旋律の動きや、余韻の変化、間などを理解し、箏の特徴を生かして演奏することができる。	○	○	○	5
	音楽の様々な表現について考えよう	「ピアノフェイズ」「広島に犠牲者に捧げる哀歌」「4分33秒」			○	リズムフェイズやクラスターミュージック、偶然性の音楽を観賞し、さまざまな音楽の在り方について気付くことができる。	○	○	○	2
	曲想を奏法を考えたキーボード演奏に挑戦しよう	「君をのせて」		○		ピアノの基本的な奏法や、楽曲の雰囲気に合わせた表現を工夫して演奏することができる。	○	○	○	4
	モチーフの変化による場面の雰囲気を感知取ろう	吹奏楽曲			○	1つのモチーフが変化することで音楽にどのような効果をもたらすか考え、吹奏楽の音色をとらえて鑑賞することができる。	○	○	○	1
	変奏で変装しよう	自作曲			○	自分でモチーフを作成し、それをもとに自己のイメージをもってモチーフを変化させながら創意工夫して音楽をつくることができる。	○	○	○	4
	調和を楽しみながら響きを工夫しよう	トーンチャイム「きよしこの夜」			○	トーンチャイムの基本的な構造、奏法を学び、余韻の変化や和音の重なりを工夫して演奏することができる。	○	○	○	2
	雅楽の魅力を味わい、日本音楽に対する理解を深めよう	越天楽			○	日本の伝統的な音楽で使われる楽器の特徴を知り、雅楽特有の音の重なり方を味わって観賞することができる。	○	○	○	4
	感動的な合唱を作り上げよう	混成四部合唱曲			○	合唱における発声法を身につけ、言葉の抑揚や曲想と歌詞とのかかわりを理解し、自己のイメージをもって表現を創意工夫して歌うことができる。	○	○	○	8
音楽と知的財産権について考えよう	ICT機器			○	身近なポピュラー音楽を用いて、音楽がどのような権利で守られているか理解することができる。	○	○	○	2	